

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**  
**第二天神の社**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.2</b>	0.15	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.2</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>4.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル	周辺が閑静な住宅街である。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>2.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間・空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	4.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 照度均等性		-	-	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00			<b>4.4</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料は規制対象がF☆☆☆☆を使用する	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ガス・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 換気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>5.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	喫煙ブースを設けている	5.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.4</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00			<b>4.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画	バリアフリーサッシを採用している。(段差無し掃き出し窓)	4.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>5.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	住宅のようなしつらい、間接照明を採用している	5.0	1.00	5.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	床材の巻上げの採用	4.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保	サービスヤードにごみ保管庫設置・清掃員控え室を設けている。	4.0	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.31	-	-			<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			3.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	汚水槽を設けている	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機設置、また屋上に設置のため浸水の危険無し	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信系統が光電話・PHSであり、交換機は2階に設置する	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.2	0.29	3.0	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	地下ピットを設け点検できるようにしている	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	EPSを設けている	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	PF管の採用	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出		隣接する小泉川の生態系保全に配慮している	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		長岡京市景観条例に沿っている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域交流スペースがある	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		屋上緑化・緑化面積の確保に努めている	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=31.2	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水槽を設置し、散水利用する。	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.3	0.63	-	-	2.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.09	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.26	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.26	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.07	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.32	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1 消火剤		スプリンクラーを設置している	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			2.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮			5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車場を設けている。	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外照明の照度を抑えている。広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	